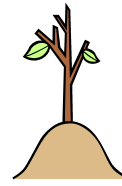


# 種時く人

令和3年7月20日  
須恵小学校便り16号



授業は、授業からはじまっては授業にならない 東井義雄

授業の前から授業は始まっているとは、「仲間づくり」「学習訓練」「教材研究」「教材準備」等のことでしょう。教育者・そして僧侶である方の教えです。

## 今学期もたいへんお世話になりました

先週号で1学期の学校便りは終わりの予定でした。すでにご挨拶はしておりましたが、16号の発行にあたり再度お礼申し上げます。



2学期も変わらぬご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 認知症サポーター養成講座 7 / 16



今年度は、4・5・6年で行いました。



## 特別支援教育支援員の先生方の仕事を紹介します

本校には、特別支援教育支援員として栃原先生と吉川先生の2人が勤務されています。あさぎり町全体では、本年度から4人増え、18人の先生方に学校教育を支えていただいています。この先生方のお仕事は、「通常学級において担任の手助けをする」ことです。子供たちの「困り感」は様々です。学習は得意でも、片付けが不得手な子・手先の器用さに課題がある子・初めてのことに對して極度に緊張してしまう子・自分の気持ちを上手に伝えられない子などです。各担任も当然対応しますが、そこを上手に手伝ってもらうことで、児童に自信を持たせることができるとともに円滑に授業も進めることができます。毎日、いろいろな面で担任をサポートしていただいております、大変助かっています。※裏面に終業式で話したことを載せています。

全員で、元気に一学期を終えられることをとてもうれしく思います。発表した学年代表の皆さんは、今学期もチャチャコースをしっかりと頑張っていることが、よく分かりました。また、ほかの人たちもそれぞれ何かに挑戦し、自分をよい方向に変えていけたと思います。皆さん、本当によく頑張りました。

今日は、カリコー・カタリンという人の話をします。この人はハンガリーという国で生まれ、生き物の研究が好きな人でした。この人が研究していたのはRNAです。しかし、みんなから注目されることはありませんでした。勤めていた大学がお金を出してくれなくて、アメリカに渡ったりドイツに渡ったりして研究を続けました。アメリカでは、ある人とコピー機の前で出会い、一緒に研究をすることが成功のきっかけとなりました。

そのうち、コロナウイルスが発生し、今まで誰も注目していなかった研究が、今では世界中の人を救うワクチンとなりました。それが、メッセンジャーRNAです。今では、カリコー博士はノーベル賞の候補と言われています。

ここから分かることは、好きなことは苦勞をしても続けられるということです。また、一所懸命やることは素晴らしいことですが、人と一緒にやることや意見を聞くことで、更によりよい結果になることがあるということです。

明日からは夏休みです。自分の時間がとれるので、好きなことにも取り組んでみてください。また、命を大切にすることはとても大事なことです。

2学期の始業式で、元気な皆さん全員と会えることを楽しみにしています。